

市報 くまが まか みや

4

月号

No.31
2008
平成20年

特集

- 平成20年度の予算 P2
- 熊谷市行政改革大綱を策定しました 5
- 熊谷教育の指針と施策 6
- 市政ワイド「こども医療費の助成」が変わります ほか 8
- 市政情報
市税等のお支払は安心便利な口座振替をお勧めします ほか 12
- くらしの情報
催し・講習・募集・試験・スポーツ・相談 18
- いきいき元気 みんなの健康 23
- 文化施設情報 26
- フォトニュース・市報クイズ 30
- 彩夏到来 08 埼玉総体・おたよりパレット 31
- 夢追い人・フレッシュクッキング 32



「出役！アド街ック天国」の収録が行われました。

テレビ東京で放送されている同番組で熊谷市が特集されます。放送は4月19日(土)21時からの予定です。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%



熊谷市ホームページ

熊谷市役所

検索





熊谷市長 富岡 清

平成20年度は、本市の方向性を示す新しい総合振興計画の初年度となります。本市のまちづくりは、合併による黎明期を経て新たな段階へと移行し、今後10年間を見据えたこの総合振興計画を、市政運営の戦略指針として位置づけ、掲げました諸施策の具体的実現を図ってまいります。

平成20年度予算につきましては、総合振興計画の着実な推進を前提に、計画と予算の一体性を図ること、また、限られた財源の中で最大限の効果をあげるために、真に必要なニーズに基づく施策に重点配分することによりメリハリのある予算とすることを方針として編成をいたしました。

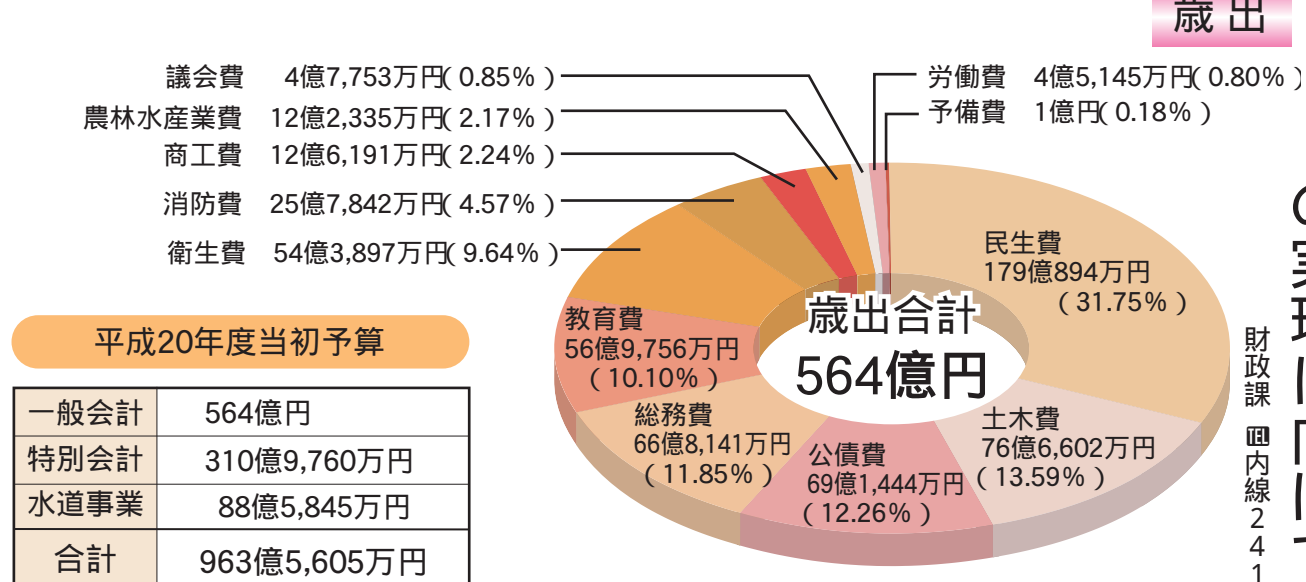
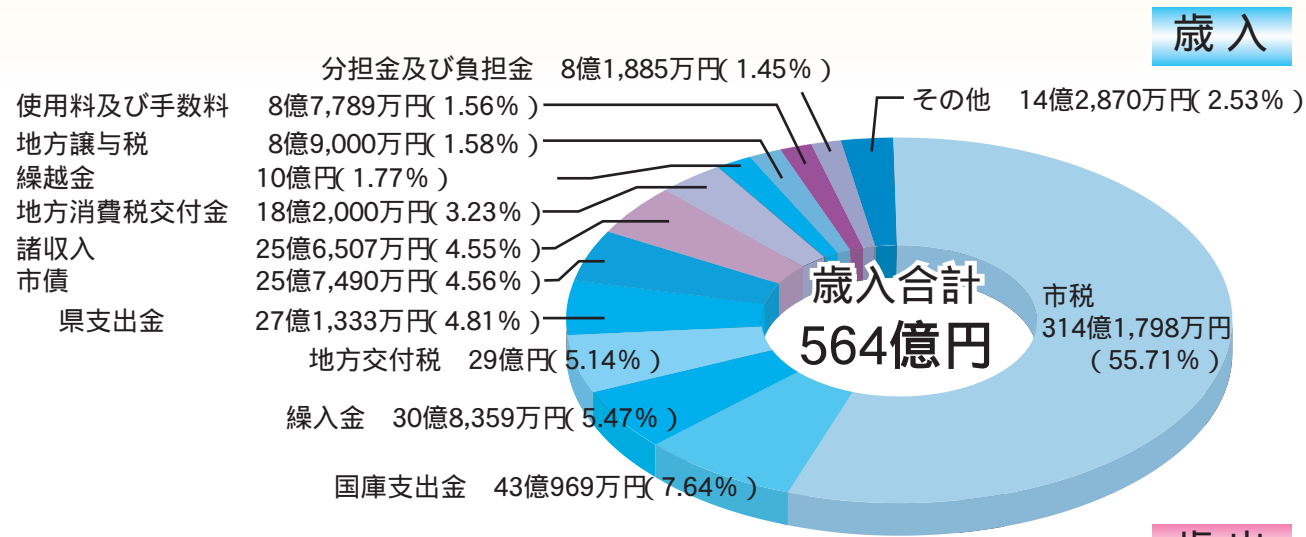
特に、総合振興計画のなかで、重点的・先導的に実施する「リーディング・プロジェクト」については、積極的に予算化をいたしました。

「あつさはれば熊谷流」(あつさはれば熊谷流プロジェクト)は、本市の暑さ日本一、快晴日数日本一という特徴的な気象条件を地域資産として活かし、市民の健康対策やヒートアイランド等の環境対策などを中心に、23事業を展開してまいります。

また、「子育て応援プロジェクト」では、県内他市に先駆けた、こどもの医療費助成対象年齢の拡大や、市直営の地域子育て支援拠点施設の開設など、子育てするなら熊谷市と言われるような施策を実施してまいります。

今回の総合振興計画の策定に際しましては、多くの市民の皆様からの御意見をいただきました。このことで、たくさんの方の知恵と夢が詰まった計画となったものと考えております。今後も、総合振興計画が目指す将来都市像であり、市民一人ひとりが豊かな環境の中で誇りと希望を持って生き生きと生活している「環境共生都市 熊谷」の実現に向けて、一つ一つの施策を着実に実施してまいります。

平成20年度当初予算 一般会計564億円の内訳



平成20年度当初予算

一般会計	564億円
特別会計	310億9,760万円
水道事業	88億5,845万円
合計	963億5,605万円

財政課 内線241

リーディング・プロジェクト「重点的・先導的に実施します」

1 あつさはれば熊谷流 (あつさはれば熊谷流) プロジェクト

あつさはれば冷ませ・遮熱性舗装事業 (1,800万円)
ヒートアイランド現象の緩和を図るため、車道や歩道に遮熱性塗料を塗ります。



冷却ミストイメージ

あつばれ・天晴・熊谷駅広場冷却ミスト事業 (5,000万円)
通勤通学者や、熊谷を訪れる方の暑さを和らげるため、熊谷駅広場に冷却ミストを設置します。

あつばれ・なるほど・熱中症予防情報発信事業 (3,457万円)
日本気象協会と連携し、市内30か所の観測データをもと

2 子育てするなら熊谷市 子育て応援プロジェクト

こども医療費給付事業 (5億3,434万円)
通院にかかる医療費の助成対象年齢を、これまでの小学校就学前までから、中学校卒業までに拡大します。(医療機

に、地域ごとに絞った熱中症予防情報、風邪ひき予防情報等をリアルタイムに発信します。

ファミリーサポート センター事業 (400万円)



地域子育て支援拠点事業 (4,896万円)
親子が気軽に集い、子育て相談や、子育て関連情報を提供する「地域子育て支援拠点施設」を妻沼児童館に開設します。



妻沼児童館

平成20年度主な事業

1 魅力ある郷土をほこれるまち

「郷土の雄・熊谷次郎直実展」開催事業 (600万円)
全国的にも有名な郷土の雄・熊谷次郎直実の資料・事跡を展示します。



全国高等学校総合体育大会事業 (6,100万円)
本市では、「陸上競技」「体操競技」が実施されます。

2 市民と行政が協働するまち

市民活動団体まつりの開催 (50万円)

協働のまちづくりを推進するため、市民活動団体と協働して市民活動団体まつりを開催します。

男女共同参画推進行動計画の策定 (300万円)

男女共同参画社会の早期実現を目指し、推進行動計画を策定します。

3 みんなで創る安全なまち

防犯カメラの設置 (1,000万円)
犯罪が発生しにくい環境を整備するため、さらに熊谷駅東口、籠原駅周辺に防犯カメラを設置します。



防犯カメラ

地震ハザードマップの作成 (1,000万円)
地震災害の危険性や避難所等を掲載した地震ハザードマップを作成します。

高機能消防指令システムの整備 (3,000万円)
災害の大規模化や広域化、住民ニーズの多様化に対応するため、高機能消防指令システムを整備します。

熊谷市行政改革大綱を策定しました

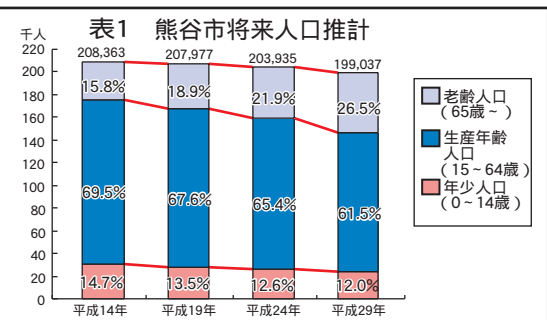
～熊谷市は今、なぜ新たな行財政改革が必要なのか～

現在、本市の財政状況は決して悪くはありません。例えば、地方自治体の財政状況を示す様々な指標のうち、住民の新たなニーズに対し、地方自治体が、どの程度柔軟に対応できるかを示す経常収支比率(数値が低い方が柔軟に対応できる)では、埼玉県内40市の平均が86.7%に対し本市は83.9%で7番目により数値となっています。

しかし、今、地方自治体では従来の手法だけでは対応しきれないほど大きな変革期を迎えています。何の手立ても行わなければ、昨年、話題となった地方自治体の財政破綻も決して他人事とはいえない状況となります。

少子高齢社会の進行

少子高齢社会と言われ久しくなりましたが、団塊の世代の大量退職など、今後、社会の高齢化は急速に進行します。本市でも、すでに少子化対策とともに高齢化対策に伴う施策の拡充や各種助成の増大により扶助費が大幅に増加しています。今後、この傾向はより顕著になるものと考えられます(表3)。

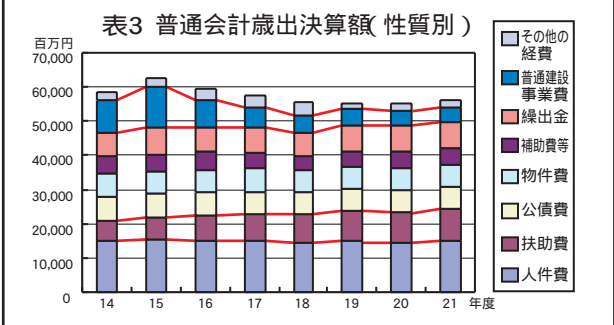
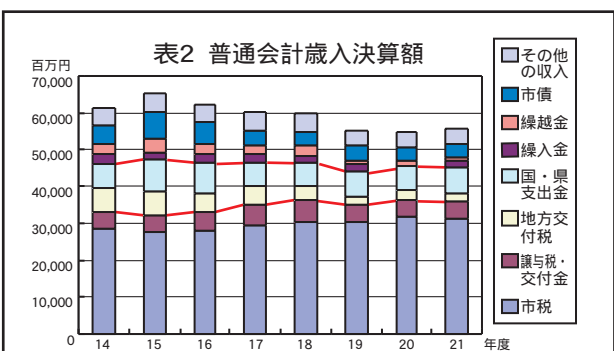


平成14年度から19年度までの5年間の実績に基づき平成29年までを推計したものです。

「地方分権の進展」に「地方にできることは地方三位一体の改革により、平成18年度時点で税源の移譲として、住民税は約3兆円増加したものの、国庫補助金は約4.7兆円、地方交付税は約5.1兆円の減額になるなど、地方財政は非常に厳しい状況にあります。

地方分権の進展

この状況は、すでに高齢社会を迎えている地方よりも、これから急速な高齢化を控えている、本市を含む首都圏にて、むしろ顕著に現れるといえます。



平成18年度までは決算額、19年度は予算額、20年度以降は行政改革に取り組みなかつた場合の推計額です。

今後、限られた財源の中で、変わり行く社会経済情勢に対応していくには、これまでのように行政がすべての領域で公共サービスを担っていくことは困難となります。そのため、これからは市民・地域・企業・行

「新しい公共空間」の形成

本市でもその影響により歳入総額は伸び悩みとともに、歳出では扶助費が増加し、道路建設などの普通建設事業費が減少しています(表2、表3)。しかし、これからは高齢化に伴う都市機能の再編整備も必要となってきます。

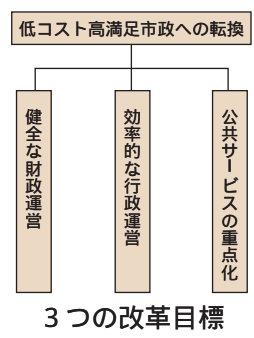
そのため本市では、市民の代表者からなる熊谷市行政改革推進委員会(松本光弘会長)からの答申や、市議

また、2度の合併を経て誕生した本市は、その合併のスケールメリットを活かし、より財政的基盤を強固にするともに、限られた予算と職員による効率的な行政運営を行うなど、一層の行政改革が必要となっています。

行政改革推進室 圃内線216



熊谷市行政改革推進委員会からの答申



大綱では平成24年度を目標準次とし、「低コスト高満足市政への転換」の基本理念のもと、「公共サービスの重点化」など3つの改革目標を掲げています。

4 だれもが安心して健康に暮らせるまち
(2億9,900万円)

これまで集団検診体制であった「各種がん検診」等を、身近な医療機関で受診できるように個別検診体制へ移行します。

後期高齢者保健事業
(6,714万円)

75歳以上の高齢者を対象に、身近な医療機関で無料で検診を受けられるようにします。



5 自然の豊かさがあふれるまち
(200万円)

一般廃棄物処理
基本計画の策定
ごみの排出を抑制し、分別、再利用を促進するため、処理基本計画を策定します。

△サントミヨ生息区域保全集中転換促進事業
(1,279万円)

元荒川の水质改善を推進するため、区域を指定し、集中的に合併浄化槽への転換を促進します。



△サントミヨ

6 活力ある産業が育つまち
(450万円)

農業振興地域整備計画の策定
農地の有効利用と農業生産基盤の計画的な推進を図るため、整備計画を策定します。



にぎわい再生事業
(300万円)

中心市街地ににぎわいを取り戻すため、立正大学等と連

携し、空き店舗を使って集客拠点を設置します。

7 便利で快適な人にやさしいまち
(3,196万円)

秩父鉄道熊谷駅の改札付近に、エレベータを設置し、多機能トイレを整備します。

(仮称)熊谷西環状線 道路整備事業
(505万円)

国道17号と国道407号が交差する熊谷警察署前交差点や、荒川大橋付近では、慢性的な交通渋滞が発生しています。この対策として、市街地を西側に迂回する(仮称)熊谷西環状線の整備に向けた調査を行います。

熊谷運動公園施設整備事業
(1億4,200万円)

多目的広場に夜間照明設備を設置し、テニスコート6面を全天候型の砂入り人工芝を整備します。



熊谷運動公園テニスコート

8 地域に根ざした教育・文化のまち

大麻生中学校 屋内運動場建築事業 (3億7,377万円)
大麻生中学校の屋内運動場を改築し、太陽光発電設備を設置します。

石原小学校 屋内運動場建築事業 (1,595万円)

別府中学校 屋内運動場建築事業 (1,695万円)

中学校校庭整備事業 (900万円)
屋内運動場改築のための地質調査および設計調査を行います。

三尻中学校の校庭の浸水を解消するため、流域貯留浸透事業に必要な測量・設計を行います。

9 効率的でわかりやすい行財政
(2,190万円)

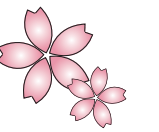
放映設備等整備事業
市のインターネット中継・録画中継を行うため、本会議場に放映設備を整備します。

行政評価事業
(212万円)

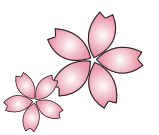
効率的・効果的な市政運営を行うため、行政評価システムを整備します。

市勢要覧発行事業
(1,000万円)

市民の日常生活に役立つ情報をまとめたガイドブック(市民生活便利帳)を作成します。



熊谷教育の指針と施策



基本目標

重点施策

単位施策

具体的な取組み

学校教育課 課内線 383
社会教育課 課内線 388

熊谷市には、教育の原点ともいえるべき「熊谷高等小学校」(弥藤吾)の保護者宛の通知(明治31年)「家庭心得」が残されています。これは今で言えば「学校だより」に当たります。

明治のこの時代から、学校・家庭・地域の連携協力によって、同一歩調で進もうとしていました。約百年後の現在においても、決して変わるものはありません。「家庭の教え」「学校の教え」「世間の教え」のそれぞれが機能し、関わり合い支え合っていることが、芽を出すことも、花を咲かせることも、実を結ばせることもおぼつかなくありません。

先達に学び、変えなければならぬことと、変えなければならないことを見極め、学校と地域と地域社会とがそれぞれの役割を果たせることを基盤として、義務教育の充実を図ります。また、各年代層の市民に対して、適切な生涯学習の場を提供できる事業を積極的に推進していきます。

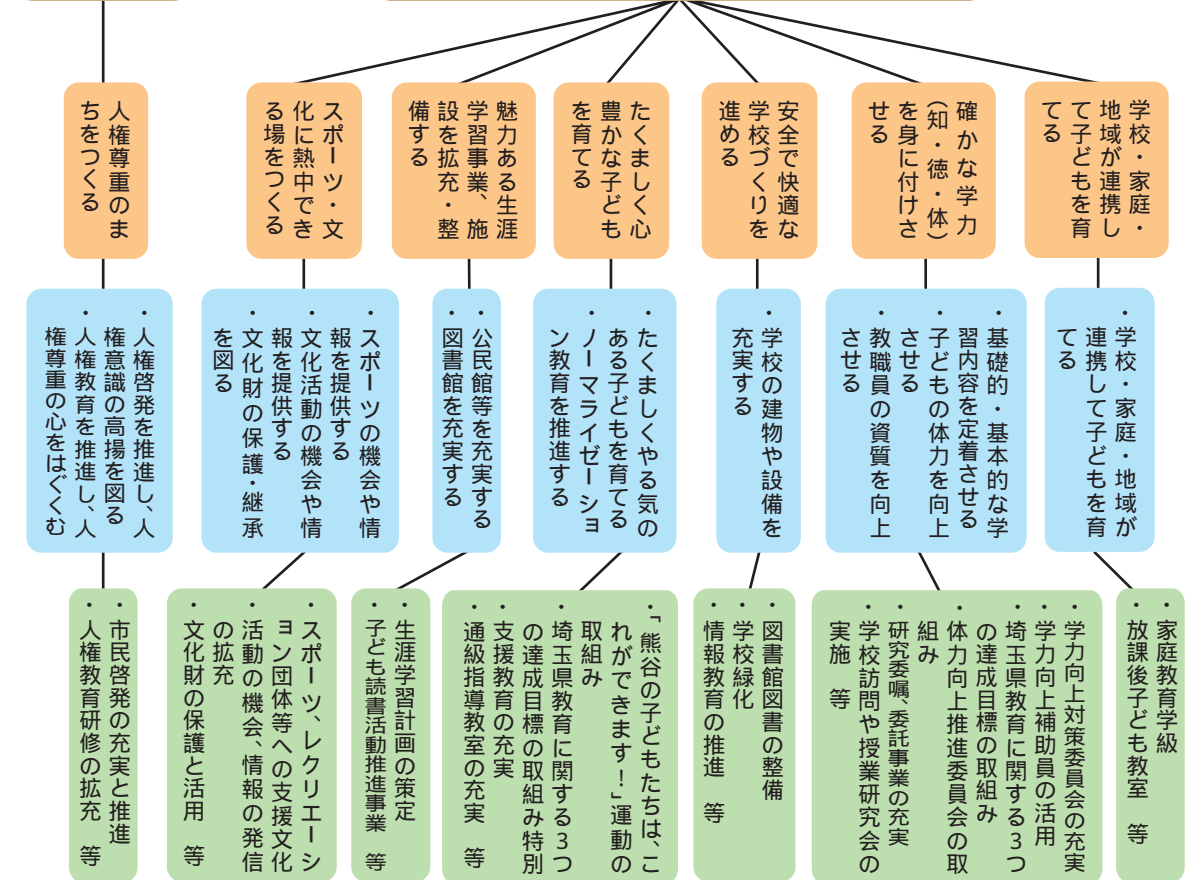


家庭心得
(熊谷高等小学校・明治31年)
「拝啓、諺にも、教育の道は、家庭の教へで芽を出し、学校の教へで花が咲き、世間の教へで実が成る」と申す程に有之候へば、学校と家庭とは、常に相一致し、互いに力を協せ、同じ方向に、相進み小児をして、世間の悪き風習に染ましめぬ様に、致し度事に御座候……

(熊谷市総合振興計画より)

地域に根ざした教育・文化のまち

市民と行政が協働するまち



子どもたちの基本的な生活習慣の確立を目指して

大人が子どもの手本となって……



朝ごはんリーフレット

熊谷市の通知票
熊谷市の通知票は、学習がひと区切りした時(学習のまとめ)に、それまでの学習状況を、子ども自身や保護者にお知らせするものです。保護者にお知らせしたうえで、分からなかったことが分かるように、できなかったことができるようにと、学習の目標や補充の目当てを立てやすくする通知票です。学校で実施している面談の機会なども利用し、子ども一人ひとりの学力向上のための手だてを保護者と一緒にご支援します。

学校・家庭・地域の連携

一子どもの心のサインを見逃さない

子どもの心のサイン

朝、頭痛や腹痛などの体調不良を訴えることが多くなる
わがままや無気力が目立つてくる
忘れ物が増え、学習への意欲が薄くなる
友だちから孤立している
欠席が多くなる(月3日の欠席がめやす)

相談ください

ほほえみ相談員・スクールカウンセラー

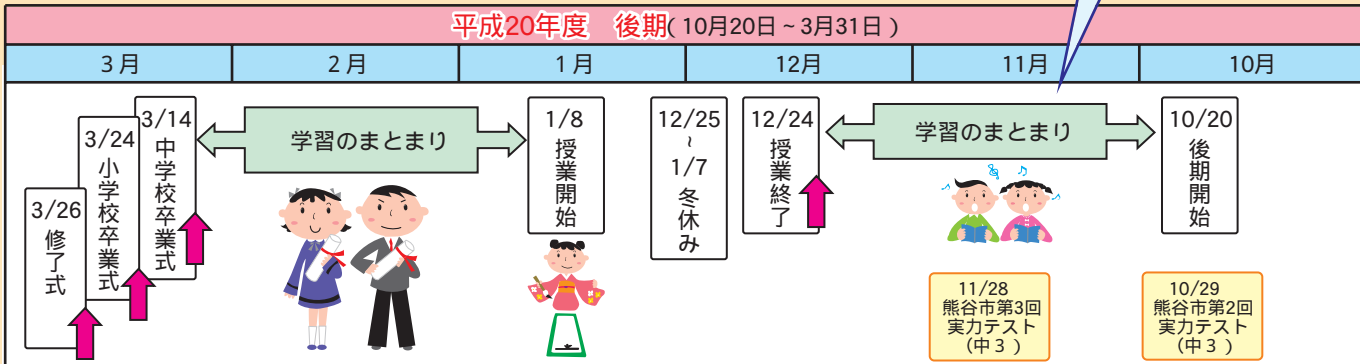
身近な相談員として「ほほえみ相談員」、臨床心理士の資格を有する「スクールカウンセラー」が、すべての中学校に配置されています。

中学校区の小学校の児童や保護者の相談に対応することもできます。

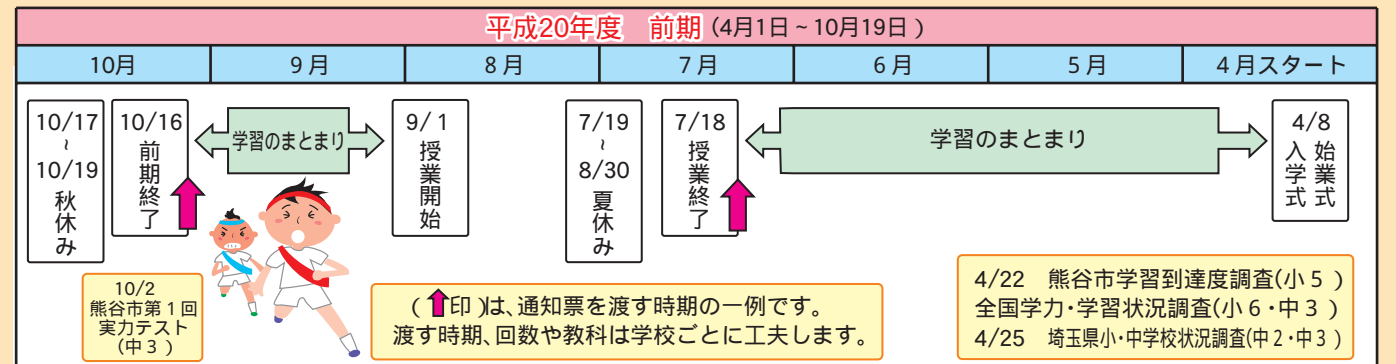
連絡先は各中学校へ



平成20年度 後期(10月20日~3月31日)



平成20年度 前期(4月1日~10月19日)



(↑印)は、通知票を渡す時期の一例です。渡す時期、回数や教科は学校ごとに工夫します。

4/22 熊谷市学習到達度調査(小5)
全国学力・学習状況調査(小6・中3)
4/25 埼玉県小・中学校状況調査(中2・中3)